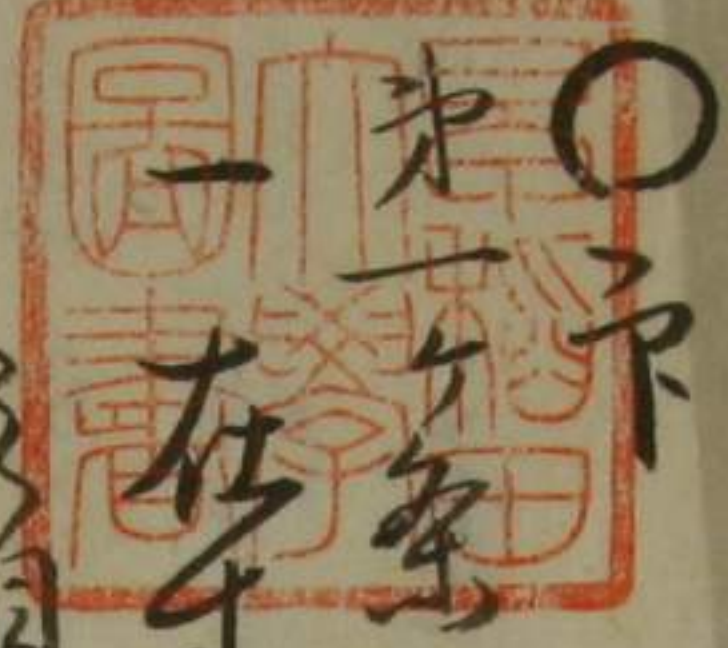


114
A 2137



○下
第一條
一 存本金札新稿と引替の手續は、
二條
一 新稿幣の五拾銭以下振出割込の位は
三條
一 造幣の金銀地金買費一切を改定する
四條
一 鑄造の地金を不純引受の度にする

の目的如何の如き事なるべし
順治年国債

大正十一年四月
大隈侯爵郵寄贈



但銅を不引更り事

五ヶ条

一 造幣寮は是迄より主として造幣之事
但人民に對し地金物糸を人民に通用
價極印を振る事と造幣寮の口を閉じ
益を得る事とを以て事

六ヶ条

一 造幣寮用達兩程を東西に分ちて
他の方より低位に金銀銅鐵を以て又
賣出の都合を肝要とす

七ヶ条

一 造幣寮官吏進出に成難き幣既
に造幣寮の事とす

八ヶ条

一 同寮守衛兵隊に指揮を授け
支りし事

九ヶ条

一 度日量連に以改正するは是目形
に支りし事

十ヶ条

一 造幣頭は右様を任在り改むる事

此高

二百三拾三万圓形

一田銀ナレハニケ月身リ

半田銀ナレハ四ケ月身リ

半田銀ナレハ六ケ月身リ

十二月ヨリ始ム六歳五月ニ至ル

右取地金ノ操まり後今子実不致る事

支り事

十四ヶ条

一租税ハ公古平年全額ハ再ハ古税者トシテ以

此ノ事ニ移者ニ及ル事

公古平年全額ハ再ハ古税者トシテ以
續ノ勢アラシカ

十五ヶ条

一租税ハ公古平年全額ハ再ハ古税者トシテ以

不引者則物感ニ及ル事

十六ヶ条

一凡薪金銀銅混合ニ部亦位下位ノ事由ホ
萬々之官古者他官ニ道不兼分則世々ト

改行ニ事ニ及ル事

十七ヶ条

一通系也上等之人高家之出廻之事

并上大花大丞造節頭

馬渡大花推至造節頭

